

平成25年3月19日 修正

定住自立圏構想

# 中心市宣言書

伊勢市

# 中心市宣言

伊勢志摩地域は、伊勢志摩国立公園に指定されている自然豊かな地域で、特に海岸線は、志摩半島以西のリアス式海岸が有名で、圏域の北部には、水質日本一に選定された清流「宮川」が貫流しています。

また、多くの文化的資源にも恵まれ、なかでも「神宮」は、圏域の文化や民俗に深く関わり、圏域に一体感を与える重要な要素となっています。

このように伊勢志摩地域は、風光明媚な自然景観と多くの文化的資源が相まって、全国有数の観光地として発展してきました。

本市の位置する伊勢志摩地域は、それぞれの行政区域を越えて生活圏を共有し、社会・経済・教育などの面で結びつきも深く、これまでも消防・救急、ごみ処理、福祉施設の運営など、連携した取組を進め、効率的な行政事務を行ってきました。

現在、日本は人口減少社会へと突入し、少子高齢化の急速な進行、産業や経済のグローバル化、国や地方の厳しい財政状況など、長年にわたって築かれたこれまでの社会構造の再構築が求められる、大きな転換期にあります。

こうしたなか、今後も地域の活性化と発展を継続していくためには、単独自治体での事業展開には限界があり、圏域の市町がそれぞれの有する都市機能や地域資源を有効に活用し合いながら、圏域全体で住民の暮らしに必要な機能を確保し、様々な課題に対して相互に連携することが、これまで以上に重要となっています。

本市は、定住自立圏構想における中心市となり、伊勢志摩地域の中心的な役割を担い、生活圏や経済圏を共にする近隣市町と、これまでに培われてきた連携や協力関係を尊重しつつ、中心市としての都市機能の充実を図るとともに、連携する市町の特性を活かした魅力ある地域づくりを進め、地域に住む住民の幸せを追求し、圏域全体の発展に全力を尽くすことを宣言します。

平成25年2月25日

伊勢市長 鈴木健一

# 1 都市機能の集積状況及び連携市町の利用状況

## (1) 伊勢市における都市機能の集積状況

伊勢市における中核的な医療機能、教育、観光、商業機能、公共施設等による各種サービス機能、その他行政及び民間分野における都市機能の集積状況は概ね以下のとおりであり、定住自立圏を形成する中心市としての都市機能を有しています。

分野	都市機能	施設名等
医療	総合病院	(民間) 伊勢赤十字病院 (二次・三次救急、災害拠点) (公立) 市立伊勢総合病院 (二次救急)
	休日・夜間診療所	伊勢市休日・夜間応急診療所
福祉	高齢者福祉施設	養護老人ホーム：2ヶ所、特別養護老人ホーム：9ヶ所 (内地域密着型1ヶ所)、有料老人ホーム等：7ヶ所、 介護老人保健施設：4ヶ所、認知症対応型グループホーム：8ヶ所
	障がい者施設	心身障害児通園施設「おおぞら児童園」、障がい者就労支援施設：4ヶ所、重度身体障害者デイサービスセンター
	健康増進施設	厚生労働省認定の運動型健康増進施設：1ヶ所
	保育施設	公立：14ヶ所 私立：17ヶ所
教育 文化 スポーツ	大学	皇學館大学
	高等学校	(県立) 宇治山田高等学校、伊勢高等学校、伊勢工業高等学校、宇治山田商業高等学校、明野高等学校、伊勢まなび高等学校 (私立) 皇學館高等学校、伊勢学園高等学校、英心高等学校
	専門学校 ・専修学校	英心専門学校、伊勢志摩リハビリテーション専門学校、勢京ビジネス専門学校、伊勢調理製菓専門学校、伊勢保健衛生専門学校、伊勢理容美容専門学校、伊勢地区医師会准看護学校
	文化施設 ・スポーツ施設	三重県営サンアリーナ、三重県営総合競技場、観光文化会館、生涯学習センター、倉田山公園野球場、市営庭球場、大仏山公園スポーツセンター、朝熊山麓公園フットボール場、小俣総合体育館 ほか
	図書館	伊勢図書館、小俣図書館

分野	都市機能	施設名等
観光・ 娯楽	都市公園	五十鈴公園、宮川堤公園、倉田山公園、大仏山公園、宮川ラブリバー公園、朝熊山麓公園 ほか
	史跡・文化財等	金剛證寺本堂、賓日館、近鉄宇治山田駅本屋、神宮徴古館、河崎商人館、麻吉旅館、二見浦、御頭神事、「お木曳き」行事 ほか
	資料館	伊勢古市参宮街道資料館、河崎商人館、尾崎号堂記念館、山田奉行所記念館、神宮徴古館・農業館、神宮美術館、せんぐう館ほか
	レジャー施設	おかげ横丁、二見シーパラダイス、伊勢安土桃山文化村 ほか
商業	大型商業施設 (H24.11.28現在)	店舗面積1,000㎡以上：27店舗 (内10,000㎡以上は、3店舗)
	金融機関等	銀行・信用金庫・労働金庫等：32ヶ所 郵便局：26ヶ所 JA：JA伊勢 17ヶ所
交通	鉄道駅	JR：7駅 近鉄：7駅
	道路	(高速道路等)伊勢自動車道、伊勢二見鳥羽ライン、伊勢志摩スカイライン (国道)23号、42号、167号
	バス	三重交通路線バス、伊勢二見鳥羽周遊バス「CANバス」、伊勢市コミュニティバス「おかげバス」
国・県・ 広域行政 機関等	国機関	陸上自衛隊明野駐屯地、伊勢税務署、伊勢労働基準監督署、津地方法務局伊勢支局、伊勢公共職業安定所、津地方裁判所伊勢支部、津地方検察庁伊勢支部、伊勢年金事務所ほか
	県機関	三重県伊勢庁舎(伊勢県民センターほか)
	警察	伊勢警察署
	消防	伊勢市消防本部
	その他	伊勢志摩総合地方卸売市場、伊勢広域環境組合

## (2) 連携市町の住民による都市機能の利用状況

### ① 中核的な医療機能

伊勢市における救急医療体制は、二次、三次救急医療施設及び災害拠点病院の指定を受けた伊勢赤十字病院、二次救急医療施設である市立伊勢総合病院の2カ所の総合病院が、医療拠点としての役割を担い、圏域住民の安全・安心な暮らしを支えています。

#### ◆伊勢赤十字病院の利用状況（平成23年度）（単位：人）

	患者数								計
	伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	その他	
外来患者数	122,705	16,746	30,610	11,825	4,189	848	14,001	49,362	250,286
入院患者数	101,553	20,401	31,476	10,010	6,034	650	14,376	25,064	209,564
救急患者数	8,975	1,254	1,955	874	514	54	761	2,104	16,491

※資料：伊勢赤十字病院 救急患者数は平日の時間内に救急外来を受診した患者も含みます。

#### ◆市立伊勢総合病院の利用状況（平成23年度）（単位：人）

	患者数								計
	伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	その他	
外来患者数	86,539	15,137	13,975	3,173	3,407	191	7,096	6,697	136,215
入院患者数	41,994	11,872	5,970	1,163	1,850	43	3,655	2,684	69,231
救急搬送者	1,457	219	92	107	70	10	96	196	2,247

※資料：市立伊勢総合病院

#### ◆伊勢市休日・夜間応急診療所の利用状況（平成23年度）（単位：人）

	伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	その他	計
患者数	7,931	203	185	735	422	18	278	1,048	10,820

※資料：健康課

## ② 教育機能

伊勢市には、高等教育機関として圏域内唯一の大学である皇學館大学のほか、県立高等学校が6校、私立高等学校が3校あり、圏域を含め連携市町から多数の学生が通学しています。

### ◆皇學館大学の学生数（平成24年12月1日現在）（単位：人）

	伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	その他	計
学生数	388	51	94	36	21	17	28	2,170	2,805

※資料：皇學館大学（伊勢市以外の出身者で伊勢市在住者：820名）

### ◆市内高等学校の生徒数（平成24年5月1日現在）（単位：人）

学校名		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	その他	計
県立	宇治山田高等学校	450	57	160	39	31	6	38	96	877
	伊勢高等学校	584	43	175	32	21	3	35	66	959
	伊勢工業高等学校	313	55	88	33	25	2	18	42	576
	宇治山田商業高等学校	292	47	21	32	22	1	33	231	679
	明野高等学校	290	56	72	27	23	1	28	72	569
	伊勢まなび高等学校	137	23	13	28	11	0	3	67	282
私立	皇學館高等学校	459	74	180	35	16	7	36	242	1,049
	伊勢学園高等学校	370	45	26	25	17	4	15	186	688
	英心高等学校	27	6	7	9	2	0	2	93	146

※資料：各高等学校

## ③ 商工業機能

商業機能としては、伊勢市駅前をはじめ中心市街地には商店街が軒を並べ、市内各所に大手スーパーや家電量販店、ファミリーレストランなどの店舗や、郊外型の大型商業施設が立地しており、圏域の住民の暮らしを支えています。

工業機能としては、市内には、大手企業の工場等が多数立地しており、産業の振興と本市や連携市町の雇用促進につながるとともに、産業支援センターにおいて、企業支援、創業支援、伝統工芸の振興に取り組んでいます。また、サン・サポート・スクエア伊勢を中心に企業誘致を進めており、更なる産業の活性化が期待されています。

◆商業の概要

	商店数	従業者数（人）	年間商品販売額（百万円）
卸売業	437	3,257	147,585
小売業	1,730	10,390	160,049

※資料：平成19年商業統計調査

◆工業の概要

事業所数	従業者数（人）	製造品出荷額等（百万円）
270	9,151	281,818

※資料：平成22年工業統計調査

④ 交通

伊勢市は連携市町と、国道23号、42号、167号や県道伊勢南勢線、磯部線、南島線などの主要県道、高速道路の伊勢自動車道によって結ばれ、圏域の交通や物流の中心となっています。

鉄道は、JR参宮線、近鉄山田線、鳥羽線が通っています。また圏域内の生活のための公共交通として、三重交通の路線バスのほか、伊勢志摩国立公園の玄関口として、伊勢二見鳥羽周遊バスや東京、京都、福岡との高速バスが運行されており、人や物のネットワークが形成されています。

◆市内主要駅の利用者数（JRは平成23年度、近鉄は平成23年）（単位：人）

	JR伊勢市駅	JR二見浦駅	近鉄伊勢市駅	近鉄宇治山田駅	近鉄五十鈴川駅
利用者数	362,552	109,379	1,328,528	1,962,944	466,905

※資料：JR東海及び近畿日本鉄道（平成23年伊勢市観光統計より転載）

⑤ 観光レクリエーション入込客数

◆観光レクリエーション入込客数（平成23年）（単位：人）

伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町
16,530,003	4,160,892	3,799,261	310,114	77,600	654,819	158,934

※資料：観光レクリエーション入込客数推計書

## 2 連携市町との連携が想定される取組

連携する取組としては、主に次のような分野を想定しています。

### ア 生活機能の強化

- (1) 医療
  - ・ 救急医療をはじめとする地域医療ネットワークの強化
- (2) 福祉
  - ・ 子育て環境、高齢者や障がい者へのサービスを充実するための連携強化
- (3) 教育
  - ・ 大学など高等教育機関との連携強化
- (4) 土地利用
  - ・ 伊勢都市計画の推進のための連携強化
- (5) 環境
  - ・ 自然環境の保全、活用のための連携強化
  - ・ 下水道施設やごみ処理施設の広域連携の強化
- (6) 防災
  - ・ 消防や防災体制の強化
- (7) 産業振興
  - ・ 観光業、農林水産業の振興、及び企業誘致による雇用確保の連携強化
- (8) その他
  - ・ 上記のほか、圏域内の生活機能の強化に関する取組

### イ 結びつきやネットワークの強化

- (1) 公共交通
  - ・ 地域の公共交通の利便性向上のための連携強化
- (2) 交通インフラの整備
  - ・ 圏域を結ぶ基幹道路及び生活道路の整備の強化
- (3) デジタルデバイドの解消に向けたICTインフラ整備
  - ・ ICTを活用した情報発信の強化
- (4) 地域の生産者、消費者等の連携による地産地消
  - ・ 地産地消の推進と地場製品のPRの強化
- (5) 地域内外の住民との交流・移住促進
  - ・ 圏域の魅力を活かした観光戦略や各種イベントの連携強化
- (6) その他
  - ・ 上記のほか、結びつきやネットワークの強化に関する取組

### ウ 圏域マネジメント能力の強化

- (1) 中心市等における人材育成
  - ・ 職員の能力向上や人材育成のための合同研修、人事交流など連携の強化
- (2) その他
  - ・ 上記のほか、圏域マネジメント能力の強化に関する取組



### 3 伊勢市への通勤通学の状況

伊勢市へは、連携市町から多くの通勤・通学者があり、伊勢志摩地域における産業と教育の中心的な役割を果たしています。

#### ◆連携が想定される連携市町の通勤通学割合

	通勤通学割合 〔A／B〕	本市に対して通勤通学する 就業者及び通学者数〔A〕 (人)	常住する就業者数及び 通学者数〔B〕 (人)
鳥羽市	0.197	1,902	9,644
志摩市	0.114	2,682	23,429
玉城町	0.286	2,119	7,418
度会町	0.369	1,504	4,076
大紀町	0.028	111	3,896
南伊勢町	0.167	852	5,112

※資料：平成22年国勢調査（常住する就業者は自宅従業者を除く）

なお、上記6市町のほか、多気郡明和町が定住自立圏構想推進要綱に規定する「通勤通学割合0.1以上」に該当している。（明和町：0.218）

### 4 伊勢市と連携が想定される連携市町の人口の状況

伊勢市及び連携市町の人口の状況では、経済の発展に伴い昭和60年頃までは増加傾向にありましたが、それ以降は、産業構造の変化や少子化の進行等により減少傾向にあり、今後もさらに人口減少が進むと考えられます。

#### ◆圏域の人口の推移

	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
伊勢市	137,296	138,672	138,298	138,404	136,173	134,973	130,271
鳥羽市	28,812	28,363	27,320	26,806	24,945	23,067	21,435
志摩市	63,065	64,252	62,877	63,035	61,628	58,225	54,694
玉城町	11,643	12,141	12,348	13,313	14,284	14,888	15,297
度会町	8,730	8,996	9,075	9,077	9,218	9,057	8,692
大紀町	14,144	13,521	12,580	11,921	11,334	10,788	9,846
南伊勢町	23,883	22,439	20,933	19,673	18,235	16,687	14,791
計	287,573	288,384	283,431	282,229	275,817	267,685	255,026
増加率	—	0.28	-1.75	-0.43	-2.32	-3.04	-4.96

※資料：国勢調査